活動原価計算（ABC）

間接費（明確な焦点のない事業のコスト）は、作業量による配分が最も現実に近い計算となる。

① 製品別の純利益やコストを計算するにあたっては、総売上高や総コストから外部調達の原材料費と部品費を引いた付加価値の数字を使う必要がある。
② 真の固定費とは、生産高と関係なく発生するコストのこと。すなわち賃借料、資産税、保険料、維持費、さらには過去の投資に関わるコストである。
③ 利益　＝　利益率（利幅）　×　回転率

【コストの尺度】コストの発生源の作業量とは何か？

・　いかなる種類の作業がコストの計算に適切であるかを決定したか？　　Ｙ　・　Ｎ

【具体例】
送り状の数、出荷件数、見積書の数、お客様への訪問回数、製品の手直し数、労働時間
デパートの場合来店した顧客の人数、アルミメーカーの圧延工場では熱間圧延の稼働回数

「われわれの事業において、コストの基準としての作業量の代表的な単位、コストの真の尺度は何か？」

＊効率＝粗利益/作業量数　＊貢献係数＝貢献利益/∑貢献利益　*固定費合計＝粗利益合計-営業利益合計

顧客（商品）ごとの営業効率と利益						
	粗利益合計	作業量の総数		固定費合計	営業利益合計	
				0		
顧客（商品）	粗利益	作業量数	効率	固定費	貢献利益	貢献係数
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!